



啓太「ふるさと恩返し」第1弾



ドリブルやシュートなど基本を指導した

は理解できたし、戦力も整った」。ACL出場権を獲得した昨季の3位以上を目標にシーズンに臨む。

さらに、今季は新たな楽しみも増えた。00年から12年間ともにプレーしたFW田中が新潟へ移籍した。前日は知人の結婚式で隣の席になるなど、公私で親交が深い仲。プロで初めて敵と

して戦うが「選手としても、人間的にも素晴らしい。新天地で活躍してほしいけど、浦和戦だけは思い通りにプレーさせませんよ」と対戦を心待ちにした。(間 淳)

◆移籍 清水は昨季限りで退団したFW高原直泰(33)がJ2東京Vに移籍したことを発表。J2熊本に期限付き移籍していたDF広井友信(28)が復帰することも発表。

島田市でサッカー教室参加

浦和のMF鈴木啓太(31)が島田市で丸尾興商主催のサッカー教室に参加した。生まれ育った静岡に恩返しするため、サッカーが盛んではない地域で普及を手助けする活動の第1弾。40人の小学生を対象にドリブルやシュートなど基本を指導し「楽しくやってもらえてよかった。きょう話したことを少しでも今後に生かしてもらえたら」と語った。

子どもたちと過ごしたことでサッカーの楽しさを再認識し、今季への思いも新たにした。「今年はタイトルを獲りたい。監督の方針

小学生に基本を指導「今後に生かしてね」

東海大翔洋OB浦和MF鈴木啓太(31)が14日、島田市内で行われた丸尾興商サッカークリニックに参加した。ドリブルやシュート練習、ミニゲームなど、参加した約40人の小学生と2時間ほど触れ合った。鈴木は「天候に恵まれなかったことは残念だったが、子どもたちが目を輝かせて楽しんでくれたことが良かったです」と笑顔で話した。

記念撮影をする浦和MF鈴木(2列目左から6人目)



鈴木(前から2列目中央)は島田市内のサッカー教室に参加

↑『スポーツニッポン』
→『日刊スポーツ』
共に2013年1月15日記事